但馬海岸のカミキリムシ

小西和夫[1)]

1．はじめに

前号で 2024 年までに県内で確認したカミキリムシ 230 種を報告したが（小西，2025），2025 年は各産地の中で近年最も注目している御崎・三尾林道（香美町香住区余部から御崎地区を経て新温泉町浜坂三尾地区に至る林道）＜以下，「御崎」と表記＞に定期的に通った．

この地は対馬暖流が久斗山・蓮台山山系の山塊に接岸し，但馬海岸を下に見て険しい山際を縫うように走る林道で，タブノキやナナカマドが共生，自然度の高い豊かな植生を保持し，南方系や山地系の種などが共存する特異なファウナを形成する．私は同じ対馬暖流に接する京都の冠島や福井の海岸，島根半島等で記録のある島嶼性の希少種が当地にも生息している可能性があるのではと考えている．

また現地で偶々出会った小椋隆氏からは，御崎のケルシウム（*Ceresium*：ヒメカミキリ属）についてリュウキュウヒメカミキリではないかとの示唆があり，先にヨコヤマヒメカミキリとテツイロヒメカミキリとして報告した記録をもう一度検証する目的もできた．

2．御崎のケルシウム

一般にケルシウムは地域や個体間での変異も多く，体色の変化も大きいため同定の難易度が高い．私の場合は標本を作成していないので，写真で判別できそうな前胸の形状，縦線や小突起，体毛，触角の各節の長さ，そして産地の記録などを頼りに判定してきた．今回 2025 年の採集記録および過去の記録写真を照合するなかで，いくつかの誤同定が判明した．

ヨコヤマヒメカミキリは浜坂や冠島に記録があり，テツイロヒメカミキリは阪神間の報告では移入種とされる（三木，2015）．また冠島ではリュウキュウヒメカミキリ，チャイロヒメカミキリの記録もある（岩田ほか，1993）．御崎にはケルシウムが多く，たくさん採れる日には各個体のカメラでの撮影を省略していたことが悔やまれるが，新たにヒゲナガヒメカミキリを採集（図 6），特徴を視認できたことで，小西（2025）でテツイロヒメカミキリとしていた個体（2021. 8. 2）はヒゲナガヒメカミキリであることが確認できた．

また撮影時ヒゲナガヒメカミキリと思いながら体形に違和感を覚えた個体は，後日写真を拡大して，触角にトゲがあることからトゲヒゲトビイロカミキリと判明した．図鑑で見ていたトゲヒゲトビイロカミキリはトビイロカミキリの仲間というのでもう少し大きいとの思い込みがあり，全く気づかなかった．ヒゲナガヒメカミキリは瀬戸内海に面した阪神間に記録があり，トゲヒゲトビイロカミキリも淡路島や阪神間で採れているが，但馬では記録の無い島嶼性の種である．

ヨコヤマヒメカミキリとテツイロヒメカミキリ，リュ

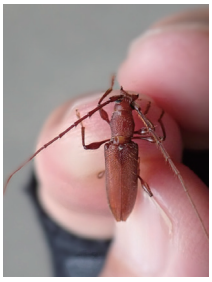

図 1. トゲヒゲトビイロカミキリ 2025.7.17

図 2. ヨコヤマヒメカミキリ 2025.7.17

図 3. リュウキュウヒメカミキリ？① 2025.6.30

図 4. リュウキュウヒメカミキリ？② 2022.7.10

図 5. リュウキュウヒメカミキリ？③ 2021.7.22

図 6. ヒゲナガヒメカミキリ 2025.6.30

図 7. リュウキュウヒメカミキリ 2018.7.2 沖縄

図 8. チャイロヒメカミキリ？ 2024.6.16 北山

[1)] Kazuo KONISHI　西宮市

ウキュウヒメカミキリの判別は特に難しいが，池田大氏のご指摘もあり，小西（2025）でテツイロヒメカミキリとしていた個体（図 5）は，リュウキュウヒメカミキリの可能性が高いと考えられる．またヨコヤマヒメカミキリとしていた 1 個体（図 4）も同種として，訂正しておきたい．沖縄や奄美のリュウキュウヒメカミキリ基亜種は暗褐色で暗い体色の印象が強く（図 7），過去に兵庫の記録が無かったこともあってテツイロヒメカミキリとしていたが，やはり前胸の特徴が異なるようだ．御崎のケルシウム 3 種は，いずれも同じような明るい黄褐色の個体が多い．

そしてテツイロヒメカミキリとして小西（2025）で写真を掲載した西宮市北山の個体（図 8）は，淡路島でも記録のあるチャイロヒメカミキリ本土亜種の可能性があると思われる．

3．ヤツボシシロカミキリの新産地

御崎には島嶼性の種とともに，標高が 100 ～ 300m 程にもかかわらず 1000m 級の氷ノ山や鉢伏山で見られるような山地性の希少種も多い．

2025 年は島嶼性のトラフホソバネカミキリ（3exs. 18. Ⅵ）やチャイロチビヒラタカミキリ（2 exs. 5. Ⅵ），サドチビアメイロカミキリ（2 exs. 18. Ⅵ）などの追加記録に加えて，新たに南方系のシロスジドウボソやクロオビトゲムネカミキリを確認した．さらに城山園地ではムネマダラトラカミキリも得ている．

山地性の種ではトウキョウトラカミキリやクロサワヒメコバネカミキリ，フタコブルリハナカミキリ，ベニバハナカミキリ，チビコブカミキリ，アオカミキリ，オオアオカミキリなどに出会えた．

なかでも驚いたのがヤツボシシロカミキリ．かねてツシマナナカマドは意識していたが兎和野以外では得られていないこともあり，完全に想定外であった．はじめリョウブの花を掬って本種が網に入ったので，あたりを見まわすと隣にナナカマドがある．さらに近くの枯枝が目立つナナカマドの生葉を掬って追加の 1 頭を得た．

兎和野の例を思い出し，これも近くのノグルミを掬うとタカサゴシロカミキリが網に入った．ここでも両種は同所的に生息しているようだ．

4．御崎，城山園地で新たに確認したカミキリ（2025 年）

前回の報文では御崎で 91 種を報告しているが，1 種（テツイロヒメカミキリ）を減じ，2025 年は新たに 21 種を確認した．また城山園地では従来の 48 種に加えて 1 種を追加，両産地の重複種を除くと全体で 125 種となる．

＜*印は，前号の報告種 (230 種) 以外の新規追加種，下線は前報文からの訂正記録＞

1．フタコブルリハナカミキリ *Japanocorus coeruleipennis* (Bates, 1873)（図 9）

ミズキ等の花　①御崎，1 ex. 18. Ⅵ . 2025；1 ex. 30. Ⅵ . 2025

2．チビハナカミキリ *Alosterna chalybeella* (Bates, 1884)（図 10）

①御崎，2exs. 1. Ⅴ . 2025

3．アカハナカミキリ *Aredolpona succedanea* (Lewis, 1879)（図 11）

①御崎，1ex. 28. Ⅶ . 2025

*4．ベニバハナカミキリ *Paranaspia anaspidoides* (Bates, 1873)（図 12）

ミズキ等の花　①御崎 1ex. 18. Ⅵ . 2025

*5．トゲヒゲトビイロカミキリ *Nysina rufescens* (Pic, 1923)（図 1）

枯枝や粗朶　①御崎，3exs. 17. Ⅶ . 2025

［ヨコヤマヒメカミキリ *Ceresium holophaeum* Bates, 1873］（図 2）

①御崎，4exs. 17. Ⅶ . 2025；1ex. 28. Ⅶ . 2025；1ex. 7. Ⅷ . 2025；1ex. 25. Ⅶ . 2024；3exs. 10. Ⅶ . 2022. 養父市万久里 CVS，1ex. 25. Ⅵ . 2024

*6．リュウキュウヒメカミキリ？ *Ceresium* sp.（図 3-5）

枯枝や粗朶　①御崎，1ex. 30. Ⅵ . 2025；1ex. 10. Ⅶ . 2022；1ex. 22. Ⅶ . 2021

*7．ヒゲナガヒメカミキリ *Ceresium longicorne* Pic, 1926（図 6）

枯枝や粗朶　①御崎，3exs. 30. Ⅵ . 2025；1ex. 7. Ⅷ . 2025；1ex. 2. Ⅷ . 2021

8．クロサワヒメコバネカミキリ *Epania septemtrionalis* Hayashi, 1950　（図 13）

クマノミズキの枯枝　①御崎，1 ex. 18. Ⅵ . 2025

9．オオアオカミキリ *Chloridolum thaliodes* Bates, 1884（図 14）

カラスザンショウの花　①御崎，2exs. 17. Ⅶ . 2025；2exs. 28. Ⅶ . 2025

10．アオカミキリ *Schwarzerium quadricollis quadricollis* (Bates, 1884)　（図 15）

カラスザンショウの花　①御崎，1ex. 28. Ⅶ . 2025

* 11. ムネマダラトラカミキリ *Xylotrechus grayii grayii* (White, 1855) （図 16）
枯枝に飛来 ②城山 1ex. 30. Ⅵ . 2025

12. トウキョウトラカミキリ *Chlorophorus yedoensis* (Kano, 1933) （図 17）
カエデの花 ①御崎，1ex. 1. Ⅴ . 2025

13. マツシタトラカミキリ *Anaglyptus matsushitai* Hayashi, 1955 （図 18）
①御崎，1ex. 20. Ⅴ . 2025

14. ハスオビヒゲナガカミキリ *Cleptometopus bimaculatus* (Bates, 1873) （図 19）
①御崎，1ex. 18. Ⅵ . 2025

15. シロスジドウボソカミキリ *Pothyne annulata annulata* Breuning, 1942 （図 20）
枯枝や粗朶 ①御崎，1ex. 18. Ⅵ . 2025

16. クワサビカミキリ *Mesosella simiola* Bates, 1884 （図 21）
①御崎，3exs. 20. Ⅴ . 2025；1ex. 5. Ⅵ . 2025

17. タカサゴシロカミキリ *Olenecamptus formosanus* Pic, 1914 （図 22）
ノグルミ生葉 ①御崎，1ex. 17. Ⅶ . 2025

18. ヤツボシシロカミキリ *Olenecamptus octopustulatus* (Motschulsky, 1873) （図 23-24）
ナナカマド生葉 ①御崎，2exs. 17. Ⅶ . 2025

* 19. チビコブカミキリ *Miccolamia* (*Isomiccolamia*) *verrucosa* Bates, 1884 （図 25）
サワフタギの枯枝 ①御崎，1ex. 1. Ⅴ . 2025；1ex. 20. Ⅴ . 2025；1ex. 5. Ⅵ . 2025

20. トゲバカミキリ *Rondibilis saperdina* (Bates, 1884) （図 26）
枯枝や粗朶 ①御崎，2exs. 30. Ⅵ . 2025；1ex. 28. Ⅶ . 2025

* 21. クロオビトゲムネカミキリ *Sciades* (*Estoliopus*) f*asciatus fasciatus* (Matsushita, 1943) （図 27）
枯枝や粗朶 ①御崎，1ex. 1. 30. Ⅵ . 2025

22. ジュウニキボシカミキリ *Paramenesia theaphia* (Bates，1884) （図 28）
ハリギリの生葉 ①御崎，1ex. 18. Ⅵ . 2025

5．おわりに

永幡嘉之は 90 年代に城山園地と観音山等浜坂町海岸部で詳細な調査を行い，但馬海岸のカミキリムシ相について 128 種を報告している．報文では香住区余部でオオアオカミキリ等を得ていることにも触れ，「これらの地域まで調査範囲に加えるなら，但馬海岸のカミキリムシ相は一層豊かなものになるだろう」と述べている（永幡，1999）．

筆者は対馬暖流に接する城山園地のカミキリムシに惹かれ，その後御崎・三尾林道まで足を伸ばすことになるが，訪れる度に驚きの出会いがあり，新たな発見がある但馬海岸に魅了されてきた．2025 年は 8 回訪れたが，毎回やはり心が躍るような体験をした．海を見下ろしながら林道脇のアカメガシワやノグルミの生葉を掬ってトラフホソバネやタカサゴシロなどが入る光景には既視感があった．この感覚はかつて対馬の海岸近くの林道で網を振り続けた，幸福な時間と場所の記憶に繋がる．但馬海岸は「リトル対馬」なのだ．

今回までに御崎と城山園地で確認できた 125 種のうち 44 種は永幡の報文に記載が無かったものである．御崎には島嶼性のケルシウムが多産するほか，ピドニアを含むハナカミキリなど，浜坂町の海岸部より山地系の種が多くみられる．小椋氏も近年この地を探索されているとのことで，私もまた但馬海岸のカミキリムシ相の解明に資するよう，遠距離遠征を続けたいと思う．

末尾ながら但馬海岸の特異なカミキリ相にいち早く注目し，その魅力を紹介された永幡嘉之氏に敬意を表するとともに，今回もケルシウムの同定に際し多くのご指摘やご助言を賜った池田大氏に厚くお礼申し上げます．

引用文献

岩田隆太郎・水野弘造・常喜豊，1993．京都府のカミキリムシ．関西甲虫談話会．118pp.
小西和夫，2025．兵庫県のカミキリムシの記録（2012 ～ 2024）．きべりはむし，48(1)：1-34
永幡嘉之，1999．但馬海岸のカミキリムシ．IRATSUME，(23)：1-4
廣田嘉正・三木三徳・八木正道，2001．兵庫県のカミキリムシ．104pp.
三木進，2015．兵庫県産テツイロヒメカミキリを追う．きべりはむし，37(2)：24-27

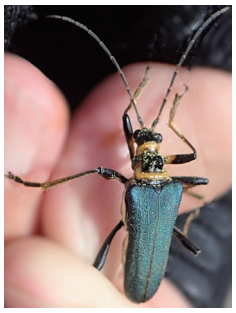
図 9. フタコブルリハナカミキリ 2025.6.18

図 10. チビハナカミキリ 2025.5.1

図 11. アカハナカミキリ 2025.7.28

図 12. ベニバハナカミキリ 2025.6.18

図 13. クロサワヒメコバネカミキリ 2025.6.18

図 14. オオアオカミキリ 2025.7.17

図 15. アオカミキリ 2025.7.28

図 16. ムネマダラトラカミキリ 2025.6.30

図 17. トウキョウトラカミキリ 2025.5.1

図 18. マツシタトラカミキリ 2025.5.20

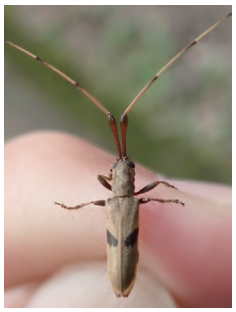
図 19. ハスオビヒゲナガカミキリ 2025.6.18

図 20. シロスジドウボソカミキリ 2025.6.18

図 21. クワサビカミキリ 2025.5.20

図 22. タカサゴシロカミキリ 2025.7.17

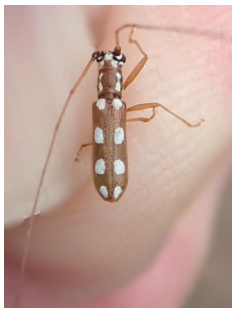
図 23. ヤツボシシロカミキリ ① 2025.7.17

図 24. ヤツボシシロカミキリ ② 2025.7.17

図 25. チビコブカミキリ 2025.5.20

図 26. トゲバカミキリ 2025.6.30

図 27 クロオビトゲムネカミキリ 2025.6.30

図 28. ジュウニキボシカミキリ 2025.6.18